

## 2020年第4回ABAC会議ニュースリリース【仮訳】

2020年11月17日

### アジア太平洋経済コミュニティの復興に向けた団結

アジア太平洋の各国・地域のビジネス界の代表は、APEC 参加国・地域の政府が協力して COVID-19 パンデミックを克服し、国際協力に対する集団的コミットメントを示す強力なビジョンを採用し、地域の持続的な経済回復と成長の枠組みを構築することを APEC 首脳に求めている。

APEC ビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）は、2020年11月20日の APEC 首脳会議に向けて、本日バーチャル会合を開催した。

「前例のない困難の時期であり、大胆な対応が求められている。世界はこの 100 年で最大の公衆衛生および経済上の危機に直面している」と ABAC のダトー・ロハナ・マハムード議長は語った。「これらの課題克服には協力、協調、連携が不可欠であり、一致団結した行動をとることによりわれわれの強みが最大化される。」

ダトー・ロハナ議長は、これが ABAC の主要テーマであると付け加えた。「ABAC はアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia Pacific）の実現を求めている。今年の ABAC テーマである「統合、イノベーション、包摂」を導く FTAAP の価値観は、経済回復に向けて大変重要である。」

「われわれは、共通の課題に対して協調して対応する 1 つの地域でありたい。自由で開かれた貿易と投資、ダイナミックなデジタル経済を含む域内のつながりを大切にする地域。互いを助け合い、互いの違いを尊重し、より大きな包摂と公平性を大切に続ける隣人。気候変動に対する緊急の行動を含む、自然環境を保護する地域である」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

ダトー・ロハナ議長は、これらの考えは、ABAC が今年の APEC 首脳への提言書に盛り込んだ提言内容に活かされていると指摘した。

ダトー・ロハナ議長は、ABAC の提言書は、目下の危機に対処する目的で貿易担当大臣宛に提出された本年 7 月の ABAC 報告書に基づいていると説明した。危機対応は依然として多くの国・地域において差し迫った懸念事項であり、断片化した政策アプローチを回避し、

ワクチンを含む不可欠な医療用品やサービスへのアクセスを確保し、サプライチェーンを機能させ、デジタル経済や人々の往来の安全な再開を含め、これらに継続的に取り組む必要があると付け加えた。これらは、世界経済の回復を加速させる事業活動とマーケット需要を復活させるのに役立つだろう。

長期的には、ABAC は3つの主要分野に焦点を当てている。

第一に、経済統合は四半世紀にわたって APEC の試金石であり、成長への回帰の基本となる。これは、FTAAP の基盤を構築し、世界貿易機関 (WTO : World Trade Organization) を中核とする多国間ルールに基づく貿易システムを支持することを意味する。

「われわれは、国際貿易に資する政策を優先し、保護貿易論者の目先の措置により経済競争力が損なわれることに対して抵抗し、WTO が適切かつ目的に合った状態を確保する必要がある」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

第二の主要分野はイノベーションである。ダトー・ロハナ議長は、パンデミックはデジタル連結性の大切さだけでなく、オープンで非差別的で一貫したデジタル経済を促進するためのインターネットアクセス、デジタルスキル、政策の不均衡を是正する必要性を劇的に実証したと付け加えた。

最後に、ダトー・ロハナ議長は、COVID-19 が、大きな包摂がより達成が難しい目標であるものの、同時により不可欠な目標に据えたと語った。「不平等の高まりと、それが助長するこれまで以上に大きな不満と信頼の喪失という問題を無視することはできない。今の経済再構築においては、われわれは零細企業、女性、先住民、若者、その他の恵まれないグループを支援しなければならない」とダトー・ロハナ議長は語った。「われわれの経済回復では、これらのグループを置き去りにしてはならない。」

ダトー・ロハナ議長は、地域の将来の公衆衛生危機のリスクだけでなく、加速する気候変動に直面するにつれて、これらの要素はすべて、より大きなレジリエンスの構築に向かっていくだろうと付け加えた。「地球の健全性の劇的な低下を逆転させ、低炭素経済への移行を取り入れる緊急の必要性がある。われわれは、次世代の社会や人々のためにもこれらを行っていく必要があり、決して動き出すことを怠ってはならない」と、ダトー・ロハナ議長は結論付けた。

以上